

取手市緊急通報システム事業

目的

突発的な急病や事故、災害等の緊急事態に対し、緊急通報装置を貸与することで、高齢者などの不安を軽減し、緊急時の救助活動をより一層迅速にするものです。

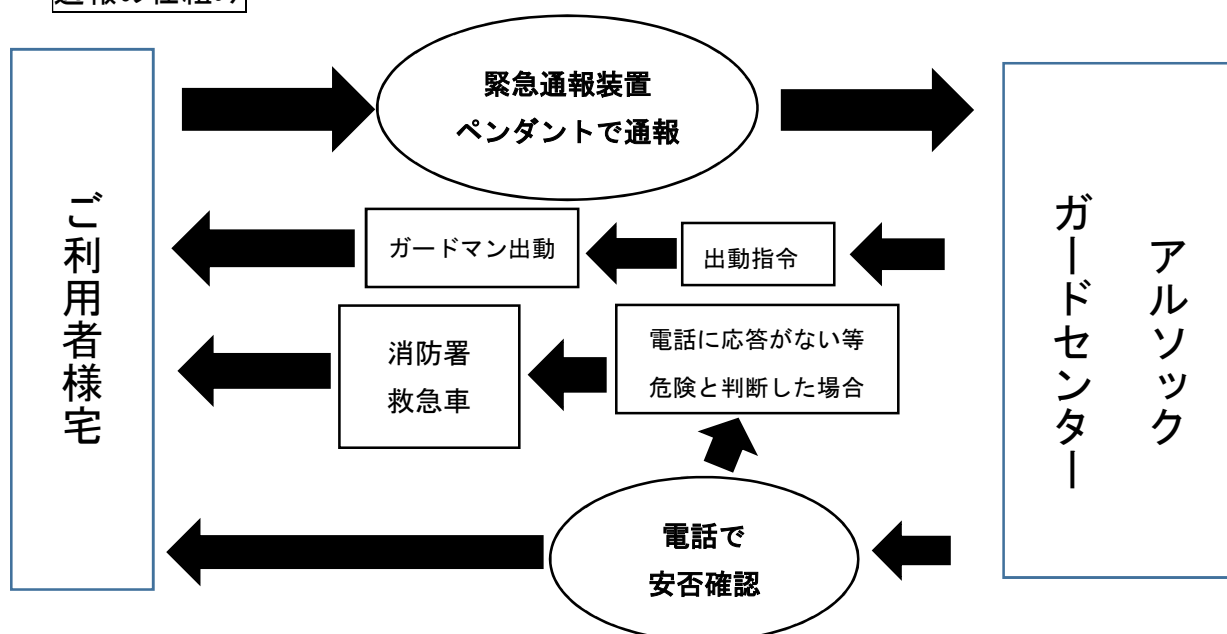
対象

- 1 65歳以上の病弱なひとり暮らしの高齢者
- 2 65歳以上の病弱な高齢者のみで構成する世帯
- 3 ひとり暮らしの重度身体障害者（身体障害者手帳1級または2級）など

設置する機器

- 緊急通報システム本体・・・固定電話と接続します。緊急時は緊急ボタンを押すとアルソックのガードセンターに通報されます。必要に応じて救急車が出動します。相談事があるときは相談ボタンを押してください。また、外出時に外出ボタンを押すことで、安否センサーを切ることもできます。
- ペンダント（無線発信機）・・・就寝中など緊急事態が発生した際、ボタンを押すことで、救急通報ができます。
- 火災報知器（無線式）・・・台所と寝室の2箇所に設置します。火災報知器が反応すると、自動的に警備会社に通報され、消防へ連絡されます。
- 安否センサー・・・冷蔵庫やトイレなどの毎日開閉するドアまたは、天井等に空間センサーを設置し、24時間動きがない場合に異常事態と判断し、自動的にアルソックに通報されます。

通報の仕組み



【急病やケガなどの緊急事態】

- 1 緊急通報装置本体の緊急ボタンまたは、ペンダントのボタンを押す
↓
- 2 アルソックのガードセンターへ通報。
↓
- 3 ガードセンターからアルソック取手支店へガードマンの出動指令
ガードセンターから通報者へ電話
↓
- 4 電話に応答がない場合には、救急車の出動要請
ガードマンが到着し容態の確認

【相談ボタン】

- 1 緊急通報装置の相談ボタンを押す。(フリーダイヤル)
↓
- 2 アルソックのヘルスケアセンターのオペレーターが受信
↓
- 3 相談内容に応じて看護師等の専門知識をもった相談員が対応

【安否センサー】

- 1 冷蔵庫やトイレのドアへの開閉センサー、または天井等への空間センサー設置により、24時間動きがない場合には、ガードセンターへ自動通報
↓
- 2 ガードマンが出動し状況の確認・対応
※安否センサーは、外泊時などには、本体の外出スイッチを押すことで、センサーを切ることが可能です。

利用者負担額

階層	介護保険料の所得段階	利用者負担額
第1階層	第1段階	0円
第2階層	第2・3段階	11,220円
第3階層	第4・5段階	33,680円
第4階層	第6・7段階	56,140円
第5階層	第8・9段階	78,590円
第6階層	第10・11段階	101,050円
第7階層	第12・13・14段階	112,280円

料金は設置時のみの負担となります。